

しばたまち交流ひろば

ゆる。ぷら倶楽部



2014.4.1 ニュースレター第 45 号

ゆる。ぷら雛祭り2014

3月2日（日）開催しました！



一日宣伝部長(?)で
大忙しの『はなみちゃん』



『美味しい
コーヒーの
淹れ方講座』
良い香りで
いっぱいに
なりました♪



楽しそうに作ってくれた『はなみちゃんの組み木』と『はなみちゃんのお雛様の飛び出すカード』♪

時間を忘れるほど
夢中になってしまう
『押し花のコースター』と
『押し花のマグネット』
作りの体験会。



テレビ、ラジオ、
新聞で取り上げて
いただきました！

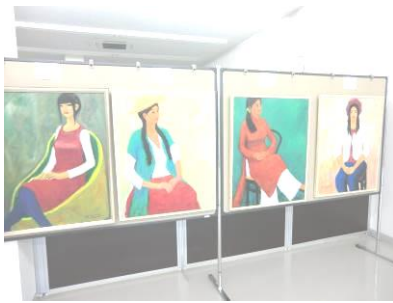


たくさんのご来館ありがとうございました！

3/2 はあいにくの天候にも関わらず、約 160 人の方に来ていただきました。
また、雛人形も過去最高の 116 点の作品が集まりました！

3月のギャラリー展示の様子

◎【鈴木誠第2回油彩画展】(3月4日～3月16日)



鈴木誠さん（作者）より

私は『絵は個人の自由な表現で良い』と考えています。
絵を描くときに心がけていることは『難しく考えないこと、幼児のような絵を見習うこと』です。
絵はバランスの勉強だと思います。

◎【幸雅の創作和紙人形三部作展】(3月18日～3月30日)



大槻さん（作者）より

浮世絵姿にこだわり女性を中心に作っていましたが、今回は能や歌舞伎の男姿にも挑戦しました。
人形がみせる情感と共に日本の伝統工芸である和紙の美しさにも注目していただけたでしょうか。

◎【写真で振り返る「花のまち柴田 2013」展】(3月18日～3月30日)



昨年数々の美しい花が町を明るく彩ってくれ、その様子を写真で紹介しました。
今年の桜の開花は間もなく。
またたくさんの人々の目を楽しませてくれることでしょう。
今年はどうな写真が撮影されるのでしょうか。

まちづくり推進センター情報

【推進センター団体交流会を開催しました！】

まちづくり推進センターに登録している活動団体の交流を深めるため、団体交流会を3月12日（水）に開催しました。

交流会には6団体から10名の参加者があり、第1部として一般社団法人メディアデザインのグラフィックデザイナー真山正太先生を講師に招き、印刷物デザイン講座を受講しました。印刷物を読んでもらえる第一歩は「手に取ってもらえる」「立ち止まって見てもらえる」デザインが必要だというお話があり、文字や写真の配置、文字の大きさ、色使いの効果的な方法について学びました。参加者からは、「これからのポスターやチラシ作りに生かしたい。ぜひ実践したい。」「このような内容だったら、もっと早くこの講座を受講したかった。これからの地域活動に生かしたい。」という感想が寄せられました。



第2部は茶話会で、参加者の自己紹介や団体紹介が交わされました。第1部が若干長引き、茶話会の時間が短くなってしまったのが残念でしたが、参加者からは「他団体とのコラボもしてみたい。」「もっといろいろな団体に参加してほしい。茶話会の部分だけ分けてでも開催してほしい。」との意見が寄せられました。推進センターでは、今後も活動団体相互の交流を図れるような企画をしていきます。

第2部は茶話会で、参加者の自己紹介や団体紹介が交わされました。第1部が若干長引き、茶話会の時間が短くなってしまったのが残念でしたが、参加者からは「他団体とのコラボもしてみたい。」「もっといろいろな団体に参加してほしい。茶話会の部分だけ分けてでも開催してほしい。」との意見が寄せられました。推進センターでは、今後も活動団体相互の交流を図れるような企画をしていきます。

まちづくり提案制度実施状況報告

【0歳児とママの居場所づくり ～安全に安心して～】

平成25年度第2回審査で採択となったスタートアップ提案「0歳児とママの居場所づくり」は、子育てサークル「まめっこ」によって提案されました。「まめっこ」には8組の親子が参加しており、毎月第1・第3火曜日の午前中に柴田町地域福祉センターで活動しています。月齢の低い赤ちゃんを安全に安心して遊ばせることができ、お母さん同士が育児相談をしあえる場所づくりを目指して活動しています。活動は、ベビーマッサージ、ベビーサインについての勉強のほか、



赤ちゃんの成長に合わせて企画を考えていきます

次のページへつづく

前のページより

おもちゃを手作りしたり、アロマグッズを作ったりと、赤ちゃんの成長に応じて、親子が楽しみながら絆を深められる活動を、提案補助金（3万円）を活用し行っています。「まめっこ」は、0歳児を育てる母親たちの情報交換の場としても大きな意義を持っています。撮りためた赤ちゃんの写真の保管方法、風邪の予防方法、おねしょ対策などなど、話題は多岐にわたります。この活動は次の0歳児の親子に引き継ぎつつ、これからも元気に活動していきます。

【しばた100選の選定に向けてキックオフ！】

平成25年度第2回審査で採択となった意見提案「しばた100選の選定」は、柴田町が誇る伝え、残していきたい資源を100個選ぶというもので、提案は町の事業として実施していくこととなりました。

住民からの提案がきっかけとなった事業であり、どのような「しばた100選」にしていくか、どのように募集・選考していくかなど企画を考えていく制作チームは住民公募としました。昨年12月から公募したところ6名のボランティアスタッフが集まりました。



平成26年1月25日(土)に第1回目の制作チーム打合せを行いました。打合せでは、平成28年の町制施行60周年に向けて今後の作業を進めていくことを確認し、スタッフの100選への思いや意気込みについて意見交換を行いました。



制作チームは、その後月に1回のペースで打合せを行い、100選の基本コンセプトを「伝えたい・残したい・自慢したい柴田の宝もの」とし、町の人達が柴田町の良さを再発見し、もっと柴田町を好きになれるような100選を作っていくこととしました。また、100選の候補となるもののイメージについては、史跡や名所、景観などの形あるものだけでなく、伝統料理や慣習、民話など形の無いものも含めていき、分野にとらわれず幅広く募集していく方向で検討を進めています。

4月以降、候補の募集作業の本格的な準備に入ります。募集の具体的な時期や方法は現在検討中ですので募集開始を楽しみにお待ちください。皆さんと一緒に作り上げる「しばた100選」の今後の募集・選定活動にご注目ください。

桜の開花まであと少し。今年も美しい桜を眺めながらのお散歩が楽しみです。

春と聞いて思い浮かぶ花は「桜」という人も多いはず。桜は淡いピンクでも人々に春を印象づけるほど存在感のある花ですね。

ソメイヨシノの花言葉は「優れた美人」「精神美（内面の美しさ）」「高貴」などあるそうです。

ゆる.ぶらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぶら
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00~18:00

<4月の休館日:毎週月曜日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

